

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
有田川町	安諦地区 (井谷、板尾上・下、杉野原、押手、沼谷)	2022/3/30	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	92ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	47ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	19ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.9ha
(備考)2号遊休農地無し	

2 対象地区の課題

各集落とも農業者の平均年齢が特に高く、5年後には70歳以上で後継者未定農地が地区の耕地面積48haのうち12ha(約25.5%)になる。過疎化が著しく、担い手となりうる人がほとんどいない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

過疎化が著しい地域であり、その中で農業の中心的な担い手も極わずかであるため、担い手が営む園地の周辺を保全していくことで、最大限の集積努力を行っていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向
貸付け等の意向が確認された農地は、20,060㎡となっている。

地域内で担い手を賄うには限界があり、地域維持のためにも外部からの人材を幅広く受け入れ、技術指導などを行うことで農地維持に繋げていく。